一番大切なことをする

（Ｉコリント１３：１～８）

2024/2/4

　人間同士が暮らして行くうえで、最も大切なことは何でしょう。それは愛すること、互いに愛し合うことです。互いに愛し合うことは、特にクリスチャンとして、最も大切なこととして教えられます。いろいろな大切なことが列挙されていますが、愛はそれらのどれよりも大切で、不可欠なのです。それは、クリスチャンではない人たちにとっても、まったく同じです。とは言え、一般の人たちの愛とクリスチャンの愛には、大きな違いがあることも、知っておかなければなりません、

Ⅰ．　愛の源　人間の愛の源は、人間をご自分に似せてお造り下さった神様です。愛は神から出るのです。神様に似せて造られた人間は、愛すものとして、愛することが出来るものとして造られました。ここでいう愛とは、愛おしく思い、大切にすることです。他の人間の幸せを願い、そのために行動することです。一般世界の「愛」という言葉の意味とは、随分、異なっています。単に「好き」ということでもありません。

　クリスチャンの愛には、一般の人たちの愛の上に、さらに重要な意味が加わります。神に似せて造られた人間性は、人間の罪のために歪曲され、傷つけられ、破壊されてしまっています。そのために、人間は愛そうという意思を持っていながら、愛することが出来ない、自分の思い通りにはできない、情けなくも悲しいものに、なってしまったのですが、クリスチャンの愛は、特別に神からの力をいただいて、愛することができるようにされているからです。

　クリスチャンとは、罪の支配、悪魔の支配から、神の支配、すなわち神の国に招き入れられた者です。まだまだこの世界に生きている間は、完全に罪の力、悪魔の力から解放されているわけではありませんが、神の支配に入れられて、神の力をいただきながら、新たに生きることが出来るようにされているのです。ですから、神の大切な性質である愛も、弱り果てていた人間に再び注がれて、愛することが出来る強いものとされているのです。クリスチャンが罪と悪魔の支配から完全に開放されて、神に似せて造られた時の状態のようになるのは、やがて、イエス様が再び来て下さる、再臨の時です。その時、私たちは完全にイエス様に似る者と造り変えられるからです。完全に愛し合うことが出来居るようになるには、その時まで待たなければなりません。

　そういうわけで、今、この現世に生きていながら、クリスチャンは一般の人達よりは、さらに強く、困難や逆境を乗り越えて、愛することが出来るようになっているのです。だからこそ、愛し合うように強く教えられ、勧められ、励まされているのです。愛し合う努力をするのがクリスチャンです。そしてそのとき、自分に人間性の愛だけに頼らず、神の愛の力を新たに求め、神に頼り、祈りながら愛するのです。すると自分では不可能に思える状況や環境の中で、愛することが出来るようになるのです。

Ⅱ．　愛の行動　クリスチャンの愛は、具体的な行動を生み出します。単に愛おしく思うだけで止まるものではありません。行動を伴います。相手の幸せを願いそのために行動するのです。そこには、行動をしない思いやりの行動を含めて、様々な行動が含まれます。あえて行動しない思いやりは、日本人的な配慮であり大切ではありますが、それを行動しない理由にしてはなりません。行動できる瞬間を伺う心がなければ、本当の配慮にはならないのです。とにかく相手の幸せを願い、そのために行動するのです。親が愛する子を想う心で、行動すべき時を待つのです。

クリスチャンにとって、愛することの始まりは、相手のために祈ることです。でも祈りだけで終わってはなりません。祈るべきときがあり、行動するべきときがあります。日本人はその思いやりのために、ついときを見逃し、行動が遅くなりがちです。「小さな親切大きなお世話」と言われても、行動することです。今朝の聖書の引用箇所には、行動する愛だけではなく、行動しない愛も記されています。

私たち神様に造られた人間には、愛する力が与えられています。そしてクリスチャンには、その愛する力がさらに増し加えられています。ただし、力は実際に用いられなければ、力があることにさえ気づくことなく、何の助けにもなりません。力は用いられて初めてその機能を発揮し、用いられるごとに強くなっていくものです。その上クリスチャンは、イエス様の愛を体験しています。イエス様の贖いの愛を実感し、日々の助けを感じながら、生きています。ことあるごとに、愛されている事実をひしひしと感じています。

愛されていると感じている者は、愛することが出来るのです。まちがってはいけません。愛することは甘やかせることではありません。甘やかされている者は、さらに甘やかされることを求めるだけです。クリスチャンは甘やかされているのではなく、イエス様の愛の手本、愛の見本を見せられ、味合わされているのです。そして励まされ、勇気づけられ、「私があなた方を愛したように、あなた方も互いに愛し合いなさい」と、愛する動機を与えられているのです。だから私たちも、愛された愛をもって愛するのだと、新たな決意を持つことが出来るのです。

世の中には、優しく愛することが出来る、素敵な性格を持って生まれてきたと、思われる人もいます。並のクリスチャンたちより、よほど愛の行動にたけている人たちがいます。神様に似せて造られた、人間の本性、人間性を豊かに発揮している人たちがいます。クリスチャンでありながら、生まれながらに優しい性質を持たないで来た人も沢山います。皆さんの牧師である私も、その内の一人です。生まれながらに優しい性質を持って来た人と比べられては、たまったものではありません。でも、神様からの新たな愛の力をいただき、励ましをいただき、愛の模範を見せられ、その愛を実体験させられ、少しずつではあっても、愛することが出来るように、成長しているのです。そこが大切なのです。牧師と一緒に成長して行きましょう。